

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こども発達支援所はる（保育所等訪問支援）		
○保護者評価実施期間	R7年 10月 27日	～	R7年 11月 10日
○保護者評価有効回答数	(対象者数) 30	(回答者数) 17	
○従業者評価実施期間	R7年 10月 27日	～	R7年 11月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数) 13	(回答者数) 13	
○訪問先施設評価実施期間	R7年 10月 27日	～	R7年 11月 10日
○訪問先施設評価有効回答数	(対象数) 6	(回答数) 6	
○事業者向け自己評価表作成日	R7年 12月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	訪問支援後、可能な範囲で利用児の情報を伝達共有している。 園の先生方が保育時間等でお時間がとれない時には、対面に限らず電話で情報をお伝えしている。		今後も情報共有を怠らないよう密に連絡を取り合う。
2	利用児への関わり方の対応や支援方法について個別に具体的に園の先生に伝えている。	利用児の障害特性に則した対応方法を具体的にお伝えしている。	園の研修会等に積極的に参加する。
3	実際の園生活場面において観察や評価を行い、導入できる可能性のあるものを提示している。	可能な範囲で園の先生に同席していただき、実際の支援の様子を通してわかりやすく伝えている。	園の先生が同席する機会をより多く作れるように調整する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援後に先生方と十分な時間をとて情報の伝達ができないことがある。	即時フィードバックにこだわりすぎている所がある。	支援直後や当日中にこだわらず、適宜情報の伝達・共有をしていく。
2			
3			